

【ホームページ公開情報】A & Dは、ホームページに 部品疲労・耐久試験機のご紹介ページを新設いたしました。

株式会社エー・アンド・デイ（本社：東京都豊島区、代表取締役執行役員社長：森島 泰信）は、ホームページに部品疲労・耐久試験機のご紹介ページを新設いたしました。

<https://www.aandd.co.jp/products/dsp-tech/#fatigue-tester>

【1. A & Dの部品疲労・耐久試験機】

1965年に株式会社サム電子機械が日本で初めての油圧サーボ機構を応用した試験機メーカーとして創立後、事業統合により現在は株式会社エー・アンド・デイにて自動車、新幹線から航空機に至る幅広い分野のメーカーや研究開発機関などに各種の部品疲労・耐久試験機をご提供しています。

特に自動車メーカーと自動車部品メーカーの研究開発、実験、品質保証の分野では、実車/ステアリング/エンジン/防振ゴム/油圧ホースなどあらゆる部分の強度・耐久・特性・疲労の各試験の装置を開発・製作し、4,000台以上の提供実績を有しています。

【2. 主な部品疲労・耐久試験機① インパルス試験機】

被供試体内に繰り返し圧力を加え、供試体の劣化により発生する気体や液体などの漏れの発生検知、供試体の機能低下や損傷の有無などを評価する試験機です。圧力試験機、加圧試験機、衝撃試験機とも呼ばれています。

1967年にA & D（当時は株式会社サム電子機械）は日本で初めてインパルス試験機を製作。以来、これまで数多くの加圧試験機を手がけ、ISO、JIS規格試験に対応した試験圧力波形を油圧サーボ技術により忠実に再現いたします。



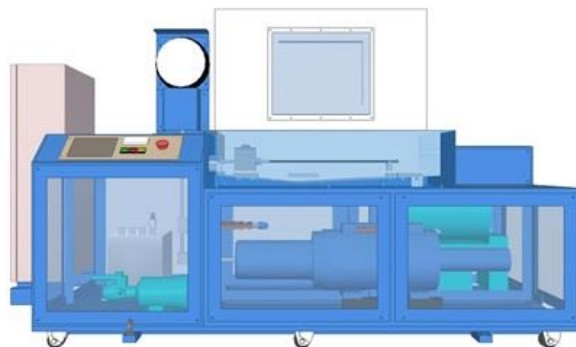
詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.aandd.co.jp/products/dsp-tech/fatigue-tester/intro-example/impulse-tester/>

【3. 主な部品疲労・耐久試験機② 圧力破壊試験機、静圧試験機】

ホースなどの供試体に内圧を負荷し、試料の耐圧を評価することや、供試体の破裂耐圧特性を計測することを目的とします。

- ・ 負荷圧力、および圧力立ち上がり時間は、制御装置にて任意に設定することができます。
- ・ 加圧装置は油圧サーボ方式により駆動されますので、昇圧速度が安定し、自動運転が可能。
- ・ 加圧媒体には水道水の使用も可能で、取扱いが容易。



詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.aandd.co.jp/products/dsp-tech/fatigue-tester/intro-example/impulse-tester/#pressure>

【4. 主な部品疲労・耐久試験機③ サスペンション/ダンパー試験機】

サスペンションやダンパーの耐久性や減衰力特性を計測するための試験機です。

- ・ 制御装置（ソフトウェア）にあらかじめ入力された試験条件を呼び出し、自動的に加振・計測・図形出力を実行
- ・ サーボバルブを2台装備し、極低速から超高速まで広い速度範囲の試験が可能
- ・ フリクション計測試験やスプリング式のサイドフォースユニットの追加が可能
- ・ オプションの恒温槽により、 $-50\sim+150^{\circ}\text{C}$ の範囲で試験が可能



詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.aandd.co.jp/products/dsp-tech/fatigue-tester/intro-example/vibration-tester/>

【5. ホームページ公開日】

2024年10月1日

A & Dは、用途に応じて各種の自動車関連試験機（計測・制御・シミュレーション）をご用意しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.aandd.co.jp/products/dsp-tech/>

会社概要

会社名 : 株式会社エー・アンド・デイ www.aandd.co.jp
(東証プライム市場 7745 株式会社 A & D ホロンホールディングス グループ企業)

本店所在地 : 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-14

代表者 : 代表取締役執行役員社長 森島 泰信

事業内容 : 電子計測器、産業用重量計、電子天びん、医療用電子機器、試験機、工業計測機器、その他電子応用機器の研究開発・製造・販売

画像 URL

<https://dam.aandd.co.jp/guest/76h04v169s>

本件に関するお問い合わせ先

販売促進部 高橋

E-MAIL : and-mcssupport@aandd.co.jp